



松 韻

今年度の最重点 「勉強（幸せになるための努力）を好きになること」

第12回餅つきを楽しむ会 今年も大成功・大盛況！



前日に「あんこ」の準備をする皆さん



3年生の餅つき 笑顔で餅をつく3年男子



1, 2年生の餅つき 餅をつく野球部員



準備、運営を頑張ったプロジェクト委員

例年、正月明けに開催してきた「餅つきを楽しむ会」を、今年は、12月21日（土）に行うことができました。

前日の夕方には、ぐみの会の皆さんやPTA総務部員を中心とする保護者の方々、そして、プロジェクト委員の生徒達が、用具やあんこ、きなこ、ごまなどを準備してくれました。みんなで協力し合い、笑顔でてきぱきと作業する姿が印象的でした。

当日は、生徒が約150名、おやじの会や総務部員などのPTA会員が約40名、ぐみの会の皆さんが10名、学校の教職員約20名が餅つきを楽しみました。受験生である3年生も約60名が参加して受験の合格を祈願しながら、杵を振り下ろしていました。どの生徒も笑顔一杯で、受験に向けた不安やストレスをいくらか解消できたようでした。

3年生の部が終了後、部活動を終えた1, 2年生が集い、餅つきがスタートしました。初めて餅つきを体験する生徒もおり、足下がふらつく生徒もいましたが、みんな笑顔で餅つきを楽しんでいました。

ぐみの会やおやじの会、保護者の方々と生徒が、一体となって日本の伝統文化に親しむことを通して天南中に関わる人と人との絆が深まる温かい機会となりました。また、この行事を通して、3年生は、受験へ向けた力強いエールを感じ、1, 2年生は、冬期間の練習に向けた応援の力を感じることができました。この行事に関わっていただいた多くの方々に心から感謝申し上げます。（文責 教頭 半田）

<ぐみの会と餅つきの歴史>

2008年	「ぐみの会」立ち上げ
2014年	第1回餅つき(1/5) 第2回餅つき(3/21)
2015年	第3回餅つき(1/10)
2016年	第4回餅つき(1/9) 家庭科などの授業支援を開始
2017年	第5回餅つき(1/7)
2018年	第6回餅つき(1/13)
2019年	第7回餅つき(1/12) 第8回餅つき(2/19)
2020年	第9回餅つき(1/11)
2021, 2022年	コロナ禍のため中止
2023年	第10回餅つき(1/7)
2024年	第11回餅つき(1/5)

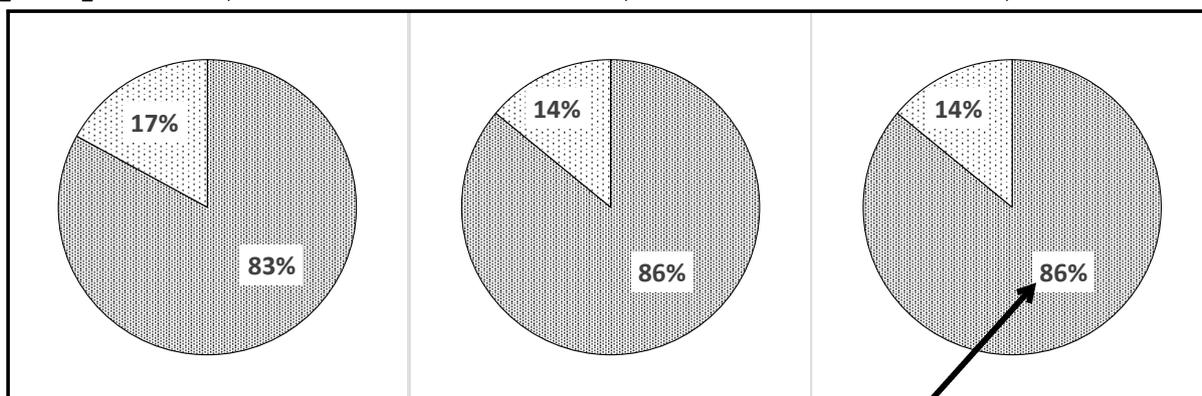
生徒による学校評価アンケートについて

設問 毎朝、喜び勇んで登校している。(回答数89% 30名未回答)

【R6】 <1年生>

<2年生>

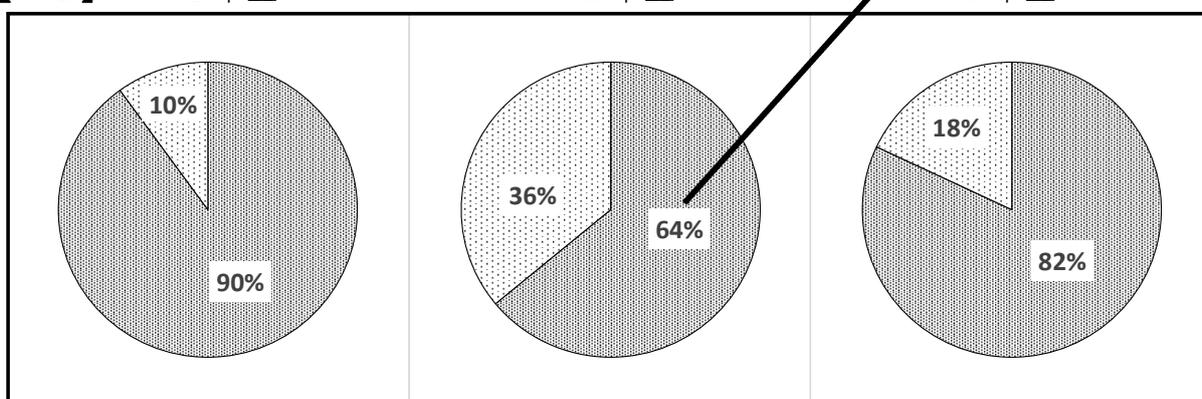
<3年生>



【R5】 <1年生>

<2年生>

<3年生>



本校では、「全ての子どもが、毎朝、喜び勇んで登校するために」を合言葉で、教育活動の工夫改善に取り組んでいます。今年も、残念ですが目標を実現することができませんでした。回答してくれた生徒のうち、約15%（37名）にとっては、学校が楽しく充実した場所になっていないことが分かりました。また、登校したくても起立性障がいなどの病気のために朝から登校できなかったり、様々な要因で学校に自分の居場所や絆を見いだせなかったりする生徒もいます。適応指導教室である「さわやか教室」や、学校の「ひまわりルーム」に登校して自分に合った学びを重ねている生徒もいます。

今後も、一人一人の生徒の理解に努め、「全ての子どもにとって、学校が喜び勇んで登校できる場所」になるように、魅力ある楽しい学校づくりに努めていきたいと思えます。そのヒントになるのが、上の3年生の結果だと考えています。昨年度に比べて肯定的な回答が20%以上も増加しています。最高学年になって精神的に成長したことや、部活動や生徒会活動の中心になって活動したこと、生徒と学年部の教職員との信頼関係が深まったことなども大きな要因だと思われま。

しかし、最も大きな要因は、毎日の学校生活の中で最も長い時間である「勉強（幸せになる努力）」が好きな生徒が、大幅に増えたことではないかと考えています。次項の資料を見てください。昨年度に比べ、3年生の肯定的な回答が約30%から約65%へと倍増しています。毎日の授業が楽しいものであれば、勉強が好きになり、学校は喜び勇んで登校できる場所になるはず。今後も、「三つのわ（わくわく、わらい、わかる）のある授業」を合言葉に、「勉強が好きになれる授業づくり」に努めていきます。

設問2 勉強（幸せになる努力）が好きである。

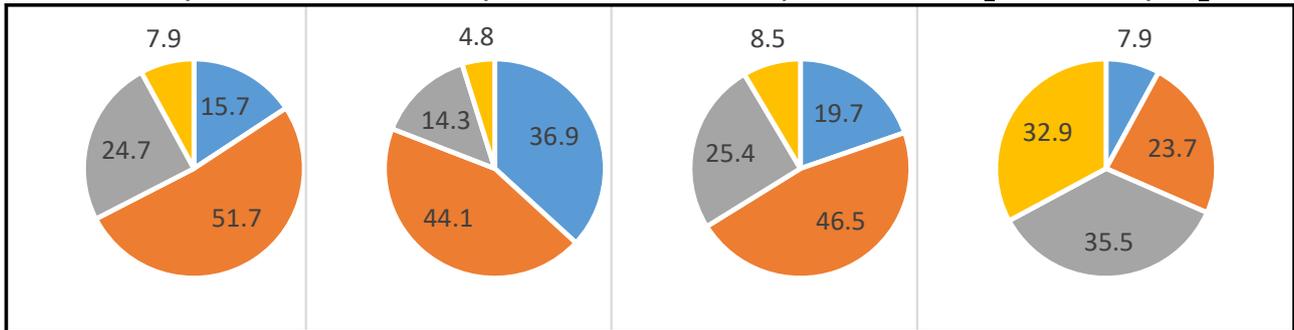
そう思う
 ややそう思う
 あまり思わない
 思わない

<1年生>

<2年生>

<3年生>

【R5 2年生】



保護者による学校評価アンケート（自由記述の一部）について

【定期テスト前の「自修日」について】

- 「自修日」を1日ではなく3日にして、全員参加にしてほしいです。
- 全校生徒参加で教え合い、互いに切磋琢磨しながら学力向上につなげてほしい。
- 部活動単位でやっていたものを復活させてほしい。
- 自修日の回数を減らしてほしい。毎回教える立場になり、自分の勉強が進まず困っています。

自修日はテスト前の部活休止期間を有効に活用できていない生徒もいるという保護者の声に応え、昨年度から実施しています。来年度も、部活動単位で3日間を基本に計画する予定です。放課後なので全員参加を強制することはできませんが、部活動に所属していない生徒も希望すれば参加できるようにしています。一人学びができる生徒の中には、「早く帰宅し自学を進めたい」と考えている生徒もいるかと思えます。しかし、教えることは自分の思考力を高める効果的な方法です。授業でも学び合いを積極的に取り入れているのは、教える側にもメリットがあるからです。他者のためではなく自分のためだと考え、仲間に教える活動に前向きに取り組んでほしいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

【夏休みの課題について】

- 3年生になると夏休みの課題がないという話を聞きました。3年生にも課題を出してほしい。

本校の校訓は「自立 自修」なので、卒業するまでには「自分の弱い気持ちに克ち、目標の実現に向けて努力できる人」に成長してほしいと願っています。3年生は夏休み前に進路目標と現在の学力の状況を確認し、夏休みの具体的な努力目標を設定しています。しかし、一人で学ぶことはとても難しいので、今年の3年部も「南中自修室」として教室を開放し、生徒の質問などに対応したり、学習方法を助言したりしました。3年生になっても、課題がないと学習できないという生徒もいるかと思えますので、夏休み前に相談していただく機会を設定し、当該の生徒に適した課題を個別に出すことも検討いたします。

【生徒指導について】

- 1年生の一部の生徒にセーラー服の着用や、髪を染めることを認めている理由を教えてください。

ご指摘の二事例について、学校としては認めていません。制服については当該の保護者に新制服の購入をお願いしています。髪を染めることについても、生徒とその保護者に学校の考え方を説明しましたが、まだ理解と協力をいただけない状況です。

「学校評価」については上の意見の他にも貴重な意見をたくさんいただきました。1月の学校報で改めて紹介させていただきます。辰年もあと6日で終わります。今年一年のご協力、本当にありがとうございました。巳年の来年もよろしく願いいたします。 (文責 校長 櫻庭)

